取 扱 説 明 書

Music System

Tivoli Audio™

安全にお使いいただくために

・この取扱説明書には、実際に使用される時に事故やケガなどを未然に防ぐために、以下の警告表示が記載されています。安全のために、記載内容をよくお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。
・取扱説明書はお手元に保管してください。

表示の意味

警告　警告内容に反した取扱いを行うと、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意　注意内容に反した取扱いを行うと、人が障害または物的損害を負う可能性があることを示しています。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号

安全上のご注意

分解、改造したりしない
・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
・後部カバーを開けないでください。内部の点検や修理は必ず、販売店かお客様ご相談窓口にご依頼ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
・傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。
・抜くときはプラグを持ち、まっすぐに抜いてください。
・コードやプラグの修理は、販売店かお客様ご相談窓口にご依頼ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない
感電の恐れがあります。

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない
ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
・機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

異常があったときは電源プラグを抜く
・機器内部に金属や水などの液体、異物がはいったとき
・煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
・販売店か、お客様ご相談窓口にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない
・⊕と⊖は逆に入れたり、⊕と⊖を針金などで接続しない
・乳幼児の手に届くところに置かない
・加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない
・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする
・液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
・液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症や怪我の原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す
そのまま機器の中に放置すると、液もれや、発熱、破裂の原因になります。

放熱を妨げない
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

⚠注意

油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多い所に置かない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナは、架空送電線、電灯・電源設備などに接触する恐れのある場所に設置しない
強風でアンテナが倒れた場合に感電やけがの原因となることがあります。

不安定な場所に置かない
・上に大きな物、重いものを置かない
・壁や天井に取り付けない
機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところや、火のそばに置かない
機器表面や内部部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
・直射日光の当たるところやストーブの近くでは特にご注意ください。

機器に乗らない
倒れたりして、けがの原因になることがあります。
・特にお子様にはご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れの時は、電源プラグを抜く
通電状態で放置・保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
・ディスクは、保護のため取りだしておいてください。

コードを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出す
電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

チボリ・オーディオについて

チボリ・オーディオは、トム・デヴェストにより、お客様が簡単に使える高品質オーディオ製品を低価格で提供することを目的として設立されました。彼は、Cambridge Sound Works*　をはじめとして、ヘンリー・クロスと長年共同提携をしてきました。

前の会社のCEO、および研究開発部門の部長として、トムは多くのホームエンターテインメント、およびマルチメディアのベストセラー商品の開発を担当してきました。彼はまたAdvent社およびKloss Video社の開発担当総括責任者でもあります。

Music System について

Tivoli Audio MusicSystem をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。MusicSystemは、高音質のステレオCDテーブルラジオです。

本製品の機能を最大限にお楽しみいただくために、この取扱説明書と、安全上のご注意をよくお読みいただき、よくご理解のうえ、お使いくださるようにお願いいたします。

製品の梱包箱やパッキングなどは、本製品の輸送時などに必要となりますので、保管しておくことをお奨めいたします。輸送時の製品損傷についての修理は、無償保証規定外の修理となりますのであらかじめご注意ください。

このたびは、Tivoli Audio製品をお選びいただき、誠にありがとうございました。

付属品について

付属品をお確かめください。

- ☐電源コード ---------------------------- 1個
- ☐リモコン（電池装着済み）------------ 1個
- ☐FMアンテナ -------------------------- 1個
- ☐AMアンテナ -------------------------- 1個
- ☐単３乾電池 ---------------------------- 2個
- ☐クリーニングクロス ------------------ 1枚
- ☐取扱説明書（本書）------------------ 1冊

※付属品に不都合がある場合は、お買い上げ店または、保証とアフターサービスについて（P.17）に記載のサポートセンターまでお問い合わせください。

準　備

動作をさせるまえに、本機を室温にならしてください。特に寒いところから、急に暖かい所に持ってきた時など、急激な温度変化によって、本機の内部に結露を生じることがあり、その場合はCDプレーヤーは正常な動作が出来なくなることがあります。

また、液晶表示パネルは、高温低温によって表示に影響を受ける場合があります。

本機の使い方

1. 後面パネルの電池収納部に単３乾電池（付属品）2個を装着します。
2. 付属品の電源コードを後面パネルの電源ソケットに接続し、電源プラグを電源コンセントに接続します。
3. 前面パネルの電源ボタン（赤色）POWER を押して、本機の電源をオンにします。
4. 前面パネルの入力選択ボタンSOURCEを押して入力を選択するか、CDディスクをCDスロットに挿入するとCDの再生を開始します。AMまたはFMを選択した場合は、それぞれ付属品のAM、あるいはFMアンテナを接続し、選局ボタン TUNE +/−を押して、希望の受信局を選択します。
5. 音量ダイアルをまわして音量を設定します。

お知らせ

ご注意ください：

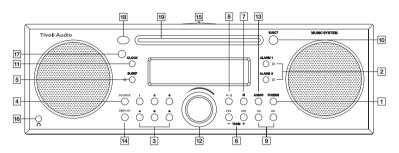
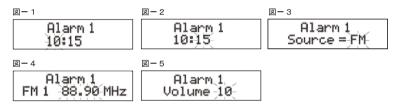
本機を使用するときは、まず最初に、バックアップ用の単３乾電池（付属品）２個を、本機の後面パネルの電池収納部にセットしてください。そのあと電源コードを電源ソケットに接続してください。

万一、本機の動作がおかしくなったときは：

まず、乾電池をとりはずし（乾電池を装着している場合）、電源コードを電源ソケットより抜いて、約１分間そのままにしておいてください。
約１分経過後に再び電源コードを電源ソケットに、しっかりと接続してください。これにより本機内部のマイクロコンピュータがリセットされて正常な動作が可能となります。その後、バックアップ用の乾電池を装着してください。

表示パネルと、SLEEPおよびALARM LEDが点滅したときは：

本機のリモコンを近距離で使用したとき、周囲の明るさによっては、表示パネルとSLEEPおよびALARM LED（緑色）が点滅をすることがあります。これは、離れた距離でのリモコン動作を確実にするために必要な制御をしているためで、故障ではありません。そのままお使いください。

名称と機能（前面部）

1. **電源ボタン　POWER**： 本機の電源を「入」「切（スタンバイ状態)」します。

2. **アラームボタン　ALARM 1 /ALARM 2**： アラームボタンALARM 1またはALARM2を確認音が聞こえるまで押し続けると、アラームセットアップ状態となり、アラームボタン横の緑色LED(アラームLED)が点灯します。このとき、表示パネルにアラーム設定時刻が表示され、“時桁”が点滅しますので(図-1)、音量つまみを回転させて希望の時刻を表示させ、音量つまみを押して″時桁″を確定します。次に、“分桁”が点滅しますので(図-2)、同様に設定してください。
“時、分桁”の設定は、相互に影響しませんので、独立して設定ができます。
　音量つまみを押して“分桁”を確定させると、そのあと、アラーム音源の選択表示(図-3)、AM/FM受信選択の場合は周波数設定表示(図-4)、アラーム音量設定表示(図-5)が順次表示されますので同様の方法で設定を行ってください。アラーム音源として“AUX”を選択した場合は、目覚まし音でのアラームとなります。CDがセットされていない場合は、アラーム音源として“CD”を選択することができません。
　アラームLEDが消灯の時、アラームボタンを短く押すと、アラームがセットされ(アラームLED点灯、また表示パネルにアラーム設定時刻が少しの間表示されます)、指定の時刻になるとアラームが動作します。アラームLED点灯中にアラームボタンを短く押すと、アラームが解除され、アラームLEDは消灯します。

アラーム設定時刻になりアラーム音動作中に、スヌーズボタンを押すといったんアラーム音は停止しますが、約７分後に再びアラーム音が動作します。アラームボタンを短く押したり、本機の電源を切るとアラーム動作は解除されます。このとき、アラーム設定時刻はそのまま保存されていますので、次にアラームボタンを押すと設定した時刻でアラーム動作が可能です。

アラーム設定中に停電などが発生した場合、後面パネルの電池収納部に電池が正しくセットされていればアラームは正しく動作します。

ただし、アラーム音として“AM”/“FM”放送、または“CD”が選択されていてもアラーム音は目覚まし音“TONE”となります。

3. **プリセットボタン1-6**： AM/FM受信中に、プリセットボタンを確認音が聞こえるまで押し続けると、現在受信中の放送局がプリセットされます。プリセットボタンを短く押すと、プリセットされた放送局を選択して受信が出来ます。プリセットは、AM/FM放送でそれぞれ６局まで記憶させることが可能です。プリセットがセットされていないプリセットボタンを押すと、表示パネルに“Preset Empty”と表示され放送局は選択されません。

   CD再生中には、プリセットボタン1-6でCD再生曲を直接選択することが出来ます(1-6曲目を選択可能)。リモコンの数字キー“1-6”を押すとプリセットされた放送局の選択が可能ですが、プリセットを設定することはできません。

4. **入力選択ボタン SOURCE**： 入力選択ボタンを短く押すことで順次“FM”“AM”“CD”“AUX”(補助入力)の入力選択ができます。アラーム音動作中には、入力選択の変更はできません。CD再生中に入力選択を変更した後、再び“CD”を選択すると、CD再生はディスクの１曲目（先頭曲）からとなります。

5. **スリープボタン SLEEP**： FM/AM受信中、CDまたはAUX音源再生中に、スリープボタンを押すと、20分間のスリープタイマーをセットできます。このとき、スリープボタン横の緑色LED(スリープLED)が点灯し、表示パネルにスリープ残時間(分)が表示されます。スリープ時間が経過すると、本機は自動的に電源が「切」となります。CDディスクが装着されていない場合は、CD再生でのスリープ機能は動作しません。

6. **スキップ/選局ボタン ⏮ ⏭ / - TUNE +** ：

   【CD再生時】 短く、スキップボタン ⏭ を押すと次曲の先頭から再生、⏮ を現在曲の再生開始から10秒以内に押すと、１曲手前の先頭から再生、10秒経過後では、現在曲先頭からの再生となります。シャッフル再生中にスキップボタンを押して曲を選ぶと、その曲からシャッフル再生を行います。

   【FM/AM放送受信時】 短く、選局ボタン － または ＋ ボタンを押すと受信周波数のダウン／アップ、長く押した後ボタンを離すと、次に受信可能な放送局まで早戻し/早送りとなります。

7. **停止ボタン ■**　：CD再生中に押すと、CD再生を停止します。次に再生を開始すると、CD先頭曲からの再生となります。

8. **再生/ポーズボタン ▶/Ⅱ**：CDを入れて再生/ポーズボタンを押すと再生を開始します。CD再生中に再生/ポーズボタンを押すと、再生を一時停止し、再度ボタンを押すと、一時停止位置より再生を開始します。一時停止のまま約５分間経過すると、自動的に停止状態に戻ります。

9. **早送りボタン ◀◀ ▶▶**：CD再生中に早送りボタンを短く押すと10秒間隔の早送り再生を繰り返します。再度、早送りボタンを押すか、再生ボタンを押すと通常再生に戻ります。この機能はリモコン操作にはありません。
　MP3　CDを使用の場合、CDの先頭曲まで早戻しがされると、そこで再生は停止します。またCDイントロモードでは早送りはできません。シャッフルモードで早送りボタンを押すと、繰り返し再生となります。

10. **取り出しボタン　EJECT**　：CD装着時に取り出しボタンを押してCDを取り出します。このボタンでCDを本機に装着することはできません。CDディスクを取り出すときは、CDを曲げずにまっすぐ手前に取りだしてください。再度CDをCD挿入口に差し込むと、自動的に本機に装着されます。取り出しボタンを押してもCDが取り出せないなど、なにか異状が起こった場合は、いったんACコードを本体から抜いて、約1分後に再度電源コードをしっかりと接続したあと、動作させてください。

11. **クロックボタン　CLOCK**　：クロックボタンを押して、まず時刻を設定してください。クロックボタンを確認音が聞こえるまで押し続けると、時刻設定モードとなり、表示パネルの“時桁”が点滅します(図-6)。音量つまみを回転させて“時桁”を設定し、音量つまみを押して設定を確定します。次に“分桁”が点滅しますので、同様に“分桁”を設定してください(図-7)。次に同様のやり方で、日付の設定を、“年”“月”“日”の順に設定します(図-8,9,10)。
　時刻と日付は、通常表示パネルの上半分に表示されていますが、表示されていない場合は、クロックボタンを短く押せば表示されます。日付けの表示は“月”“日”のみで“年”は表示されません。

12. **音量/TREBLE　つまみ**　：時計方向に回すと音量大、半時計方向に回転させると音量小となり、表示パネルが“Volume”表示となり０(音量ゼロ)～30(最大音量)の範囲で数字で音量が表示されます。適当な音量に調整して使用してください。音量/ TREBLEつまみを押すと表示パネルが“TREBLE”(高音)表示となり、－４(高音弱)，－２，０，＋２，＋４(高音強)の範囲で、音量／TREBLEつまみをまわして高音の調整ができます。表示はそれぞれしばらくすると自動的にもとの表示に戻ります。
　音量/TREBLEつまみは、このほかに時刻設定とアラームの設定時に使用します。スヌーズ中に音量/TREBLEつまみを操作するとスヌーズモードはキャンセルされます。

13. **オーディオボタン AUDIO**：オーディオボタンを短く押すと、表示パネルに現在のオーディオモードが表示され、続けて短く押す度にオーディオモードが、Space Phase TM ワイドモード⇒モノラル⇒ステレオと順次選択されます。本機の電源「入」時には、それまでの設定にかかわらず、オーディオモードは、Space Phase TM ワイドモードに自動的に設定されます。
　Space Phase TM ワイドモードは、より広い音も広がりが得られるように設計されている設定です。モノラル設定は、電波強度の弱いFM放送局のステレオ受信時の雑音を軽減することにより、比較的音質の良いモノラル受信を可能とする設定です。
【イコライザー　EQ】
　イコライザーを一時的にオフにするには、表示パネルに“EQ off”と表示され、確認音がなるまでオーディオボタンを押し続けます。イコライザーはオフとなり、次回、本機の電源が「入」となったときに自動的にイコライザー　オンとなります。イコライザーを常時オフにするには、表示パネルに“EQ always off”と表示パネルに表示され、確認音が鳴るまで、再度オーディオボタンを押し続けます。イコライザーは再度　“EQ on”がセレクトされるまで、常時オフとなります。
　イコライザーがオンの状態では、特に小音量での低音部が強調されます。後面パネルのバスレベルつまみを中央のクリック位置に設定されることをお奨めいたします。低音部の音声に歪みが生じた場合は、バスレベルつまみや音量レベルを低く設定ください。
　さらに詳しくは、「Music Systemをさらにお楽しみいただくために」のページをご覧ください。

図－11

```
10:15    1 Jan
CD ▸   1  0:27
```

14. **表示ボタンDISPLAY**：表示ボタンを押す度に、CDテキストの表示モードを“CD Scrolling Text”“Static Text”“CD Text off”の順に選択でき、テキスト付きのCD再生時に、CDテキストの表示をおこないます。テキスト付きのCDでない場合は(図–11)、この機能は働きません。

市販されているすべてのCDがCDテキストを持っているわけではありません。スリープモード時には、テキストは表示されません。

15. **スヌーズ／ミュートボタン SNOOZE/MUTE（本体上面）**： アラーム動作中にスヌーズ／ミュートボタンを押すと、約７分間アラーム音停止します（約７分後に再びアラームが鳴ります）。このとき表示パネルにはスヌーズ残時間（分）が表示されます。スヌーズ中に音量つまみを操作するとスヌーズモードは解除されます。
　通常使用時に、スヌーズ／ミュートボタンを押すと、音声出力がミュート（消音）されます。再びスヌーズ／ミュートボタンを押すか音量つまみを調整すると、音声出力は元に戻ります。

16. **ヘッドフォン出力** ： ヘッドフォン（市販品）を接続します。ヘッドフォンを接続すると本体のスピーカーからは音は出ません。音量は本体の音量つまみで調整します。大きな音量でヘッドフォンを使用して長時間聞くと聴力に悪い影響を与えることがありますので、音量を上げすぎないようにして使用してください。

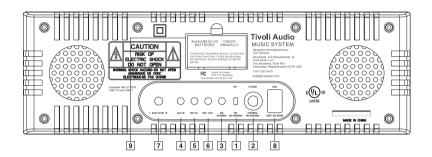
17. **光センサー** ： 本機の周囲の明るさを検知して、表示パネルの明るさを自動的に調整します。周囲が暗いと表示パネルは減光され、周囲が明るいと、明るく表示されます。センサー部を遮りますと正しく動作しませんのでご注意ください。

18. **リモコン受光部** ： 付属品のリモコンからの赤外線受光部です。正常な動作のため、この部分を遮らないでください。

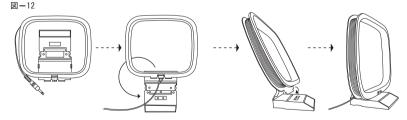
19. **CD挿入口** ： CDディスクを、ラベル面（印刷面）を上にして、挿入します。ディスクは自動的に内部に引き込まれ、表示パネルに“Loading”と表示されます。この表示中は、バタン操作は動作しません。CDが正しく装着されると、CDの先頭曲から自動的に再生が始まります。
　CDモード選択時に、本機にCDが装着されていないと、表示パネルには“No Disc”と表示されます。ディスク排出時には“Ejecting”と表示されます。さらに詳しくは、「CDプレーヤーについての大切なお知らせ」のページをご覧ください。

Music Systemをさらにお楽しみいただくために

1. 本機をコンピューターその他の電子機器の側で使用すると、音声に雑音が入る場合があります。そのような場合は、コンピューターなどの他の電子機器から十分に離れた場所に本機を設置して使用ください。
2. The Space Phase™ Wide Modeや、EQ設定の効果は、お使いの音楽ソースの違い、部屋の広さ、音量などにより異なります。一般的に、Treble調整は˝0˝位置に設定することをお奨めします。特に大音量で使用時は、EQ設定をオフ、オーディオモードはステレオかモノラル（The Space Phase™ ワイドモードは良い結果が得られない場合があります）設定の使用をお奨めいたします。
3. もし何か本機の動作にトラブルが発生した場合は、まず電源コードをはずして、60秒後に、再度確実に電源コードを接続して電源を入れ直すと、通常操作が可能になります。

名称と機能（後面部）

1. **FMアンテナスイッチ FM ANTENA** ： 本機に内蔵のFMアンテナと、外付けのFMアンテナとの切替スイッチです。外付けアンテナを使用の場合は、このスイッチを“EXT”位置に、外付けアンテナを接続しない場合は、“INT”位置にセットしてください。このスイッチの設定はAM放送受信には影響を与えません。

2. **外部FMアンテナ入力端子 EXTERNAL FM ANTENA** ： 多くの場合、付属のFMアンテナを使用することでFM放送受信感度を向上させることができます。付属のFMアンテナのプラグを外部FMアンテナ端子（F-コネクター）に接続し、FMアンテナスイッチを“EXT”の位置にセットしてください。
FMアンテナを取り外すときは、FMアンテナの白い線を引っ張らないでください。破損の原因となります。必ずFMアンテナの黒いプラグをしっかり持って、まっすぐに引き抜いてください。さらに詳しい情報は、「受信について」のページをご覧ください。

図ー12

3. **AMアンテナ入力端子 AM ANTENA** ： 付属品のAMアンテナを組立て(図-12)たあと、AMアンテナのステレオミニプラグをこの端子に接続します。最適の受信感度が得られる方向にアンテナをセットしてください。AMアンテナを接続しないと、AM放送は受信できません。さらに詳しくは、「受信について」のページをご覧ください。

4. **補助入力端子 AUX IN** ： テレビやMP3プレーヤーなど他のオーディオ機器の音声信号出力をこの入力端子に接続し、入力選択ボタンで入力を“AUX”を選択すると、他のオーディオ機器の音声出力を本機で再生ができます。この場合、他のオーディオ機器の電源が入っていないと、本機での音声再生はできませんので、ご注意ください。補助入力端子への接続は、ステレオミニプラグのついたコードが必要です。音量は接続した他のオーディオ機器毎に異なる事がありますので、本機の音量つまみでお好みの大きさに音量を調節してください。

5. **ミックス入力端子 MIX IN** ： コンピューターなど他の電子機器の音声出力をこの端子に接続すると、この外部機器からの音声と、本機のラジオ、CDまたは補助入力に接続した別の外部機器からの音声出力とをミックスして本機で再生ができます。ミックス入力端子に入力した音声の音量は、接続した機器の音量調整でおこなってください。ミックス入力端子への接続は、ステレオミニプラグのついたコードでおこなってください。

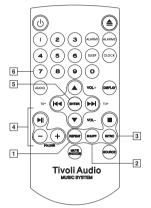
6. **録音出力端子 REC OUT** ： この端子にカセットデッキなど他の録音機器を接続して、本機の出力を録音することができます。出力信号のレベルは固定で、ステレオミニプラグで接続します。この端子にプラグを接続しても、本機のスピーカーの音声は通常通り出力されます。

7. **バスレベルつまみ BASS LEVEL** ： 時計方向に回すと低音部音量を大きく、半時計方向に回すと低音部音量を小さく調整ができます。本機に内蔵のサブウーハースピーカーは、音量を上げるのではなく低音部を微妙に強化するするように設計されています。通常の場合は、バスレベルつまみは中央のクリック位置にセットしておくことをお勧めします。もし、再生する音声により、低音部の音声に歪みが生じた場合は、バスレベル低く設定し、また音量を低くしてください。

8. **電源入力 POWER INPUT 100V 50/60Hz** ： 付属の電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに接続してください。もし、電源コードをはずした場合は、60秒間待ったあと、電源コードを再接続してください。電源通電時に、CDが本機に装着されていれば、自動的に排出します。

9. **電池収納部** ： 時計機能とアラーム設定の停電時のバックアップのため、電池収納部に単３乾電池を正しく装着してください。乾電池は定期的に点検をしてください。電池が装着されていないか、装着されていても電池残量が少ない場合は、表示パネルに“No Batteries”と表示されます。使い終わった電池は、お住まいの地方自治体の規則に従って廃棄してください。電池でのバックアップ動作中は、電池の消耗を避けるため、表示部やLEDは点灯しません。アラームが設定されていれば、設定時間になれば、目覚まし音でお知らせします（アラーム音設定がAM/FMラジオやCD再生にセットされていても、電池バックアップ時は、目覚まし音となります）。

リモコンについて

リモコンをご使用になる前に、電池消耗防止用の透明シートを引き抜いて取り去ってください。

多くの操作方法は、本体前面パネルの操作と共通ですが、それらに加えて、リモコンでは以下の操作が可能となります。

1. **リピート(繰り返し)キー REPEAT** ： CD再生中に一度押すと、現在再生中の曲をリピート１再生、二度押すとCD内全曲をリピートALL再生、さらにもう一度リピートボタンを押すか、停止ボタンを押すと、リピートモードが解除されます。リピートボタンを押して、リピート１再生またはリピートALL再生をセットしたとき、表示パネルに、数秒間“Repeat 1 track”“Repeat all” が、その後は表示パネル右下隅に“Φ”“00”マークがそれぞれ表示されます。リピート１再生はシャッフルモード時には動作しません。

2. **シャッフルキー SHUFF** ： CD再生中にシャッフルボタンを短く押すと、CD内の全曲をランダム(順不同)再生を行います。このとき表示パネルに数秒間 “Shuffle on”が表示されたあと、パネル右下隅に“§”マークが表示されます。シャッフルボタンをもう一度押すか停止ボタンを押すとシャッフルモードは解除されます。シャッフルモードでCD内全曲を再生すると再生は停止します。シャッフルモード再生中にスキップボタン ⏮ ⏭ を押して再生曲を選択すると、シャッフル選択した曲からシャッフルモードを繰り返します。MP3 CDの場合は、多くの曲が収録されているので、シャッフルモードでは、一部の曲のリピート再生となります。シャッフルモードは、リピート1再生、リピートALL再生、イントロ再生時は使用できません。

3. **イントロキー INTRO** ： CD再生中にイントロボタンを短く押すと、CD内全曲の先頭部分10秒間を順番に再生します。イントロモード中

は表示パネル右下隅に“↲”マークが表示されます。次にイントロボタンを押すか、停止ボタンを押すと、イントロモードは解除されます。CD内全曲の先頭部分の再生が終われば、再生は停止します。

お知らせ：以上の機能はCDが未装着時、装着動作中には設定できません。また、二つの機能が同時に設定された場合は、表示パネルに両方のマークが交互に表示されます。

4. フォルダーキー FOLDER +/- ：： 現在のMP3フォルダの選択を次に送る、又は元に戻します。

5. 入力キー ENTER ： 本体前面パネルの音量/TREBLEつまみを押した時と同様の機能を持っており、選択項目の確定や、Trebleの調整に使用します。

6. 数字キー 0-9 ： CD再生中に再生曲番号を直接指定できます。二桁の曲番号の指定は、10の位の数字を押したあと続けて１の位の数字を押します。

数字キー1-6は本体前面パネルのプリセットボタン1-6と同様にプリセット選局ができます。（プリセット選局の設定はできません。プリセット選局の設定は、本体のプリセットボタンで行ってください）

リモコンでの音量調整は上、下矢印キー VOL+ VOL-、FM/AMの選局は左、右矢印キー（スキップキー TU- TU+ ）で行えます。

リモコンの電池の交換が必要な場合は、3V リチウム電池CR2025をご使用ください。
電池の装着方向は、リモコンの裏面側が電池の＋側となるようにセットしてください。

CDプレーヤーについての大切なお知らせ

・ MP3/WMA CDでは、トータル再生時間は表示されません。市販の音楽CDではCDが装着されているとき、トータル再生時間が表示パネルに表示されます（停止時）。スキップボタンを押して選曲をすると、トータル再生時間は表示されません。
・ 再生の開始は、CDデータの読込時間だけ少し遅れます。
・ ディスクの装着動作中は、CD機能設定ボタンは動作しません。
・ 取り出しボタン EJECT ディスクの装着はできません。
・ CD再生中に入力選択を変更すると、CD再生は停止します。再び入力がCDにセットされると、CD先頭曲より再生を開始します。
・ MP3、CD-R/CD-RW および市販の音楽CDにおいても、再生時の音質はディスクの状態により大きく異なります。
・ CDクリーニングディスクは使用しないでください。

- ディスク装着時や取り出し時に、ディスクを反らせたり傷つけないようにしない。
- CD再生中に本機を移動させたり、ディスクを装着したまま輸送しない。
- すでにディスクが装着されているときに、さらにディスクを挿入しないでください。
- 特殊な形状のディスクや、3インチ(シングル)ディスクを装着しないでください。
- MP3またはWMAディスクを装着した場合、本機がディレクトリーの読み込みのため、再生の開始が遅れることがあります。
- ラベルや紙等を表面に貼ったCD-R/CD-RWなどを使用した場合、剥がれて本機が故障する場合があります。そのようなCDは使用しないでください。
- CDに汚れ、傷などがありますと正常に再生できない場合があります。
- CD挿入口から本機内部に、CD以外の異物を入れないようにしてください。万一、動作不良が発生した場合は、電源コードを抜いて60秒間待ち、その後、再度電源コードをしっかりと接続してください。

受信について

内部FMアンテナは電源コードに組み込まれており、良好なFM放送の受信が可能です。付属の外付けFMアンテナを使用しますと、さらに良好なFM放送受信が期待できます。

外付けFMアンテナのコードを十分のばして設置し、またアンテナのコードは電源コードや他のコードと束ねたりしないでください。

外付けアンテナを、窓の側か、外面に面した壁面近くに設置しますと建物内部に設置の場合より、より良好な受信が可能となります。山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、FMアンテナやテレビアンテナを利用して、屋外アンテナの設置をお勧めします。

付属の外付けFMアンテナを取り外して、アンテナ線(同軸ケーブル)をアンテナプラグ(市販)に取り付けて、本機後面の外部FMアンテナ入力端子EXTERNAL FM ANTENA に接続します。このとき、FMアンテナスイッチを必ず“EXT”の位置にセットしてください。外付けアンテナを使用しないときは、FMアンテナスイッチは、“INT”位置にセットしてください。このスイッチはAM受信には影響を与えません。

電波が弱くて音声にノイズが多いFM放送を受信する場合、オーディオボタン AUDIO を押して、モノラル(Mono)を選択しますと、ノイズを軽減してより良好なモノラル放送を受信できることがあります。良好な受信のため電源コードはアンテナ線に近づけないようにしてください。

AM放送受信のためには、付属のAMアンテナを図-12(P. 11)の方法で組み立て、アンテナコードのプラグを、本機後面のAMアンテナ入力端子AM

ANTENA に接続してください。そのあと、希望のAM放送が最適感度で受信が得られる方向にアンテナをセットしてください。

コンクリート、鉄、アルミニュウムの外壁の建物内では、ラジオ受信が妨害されます。家庭用電気製品、電気毛布、コンピュータ、CDプレーヤー、電子レンジ、その他の電子機器なども、受信の妨害原因あるいは、雑音の発生源になることがあります。この場合、本機をそれらの機器から遠ざけるか、それらの機器が接続されている電源回路のコンセントとは違うコンセントに接続してください。大きな金属表面もAM受信を妨害することがあります。

設置場所について

・ 本機は、平らで安定した場所に置いてください。
・ 本機を、書棚やキャビネット、壁面やコーナー近くに設置した場合、低音が強調されるなど、不自然な音となることがありますので、ご注意ください。
・ 本機後面部の空気穴をふさいだり壁面に近づけて設置しますと、音質の劣化や内部に熱がこもり、故障の原因になる恐れがありますので、お止めください
・ 本機に内蔵されているCDプレーヤーは振動を考慮して設計されておりますが、耐震構造にはなっておりません。本機は平らで水平な、振動が伝わらない場所に設置してください。
・ 本機は電磁シールドがなされていますので、テレビやコンピューターのモニターの近くで使用することができます。

お手入れについて

安全のため、お手入れの前に必ず、電源コードを取り外してください。
クリーニング時は、粗い磨き粉、溶剤などを使用しないでください。本機の表面に損傷を与えることがあります。家庭用洗剤も同様に損傷を与えることがあります。
本機をクリーニングするときは、柔らかい布に水、あるいは必要なときだけ薄めた石けん水を含ませ、固く絞ったうえ、強く擦らないようにして、汚れを拭き取ってください。指紋などがついた場合には、付属のクロスを用いてお取りください。

本機の外装は自然木で出来ておりますので、色調や木目パターンは製品ごとに少しずつ異なることがあります。

本機の外装仕上がり状態は、自然木製品としての通常の経時変化や太陽光などによる退色、変色がおこることがありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

● 形式	:	Tivoli Audio Music System
● タイプ	:	デジタル　FM/AM　CDラジオ
● ドライバー	:	２×3 インチ型　フルレンジ、電磁シールド １×5.25 インチ型（底面）ウーハー、電磁シールド
● 電源	:	AC100V　50/60Hz
● 外形寸法	:	359mm（W）×133mm（H）×241mm（D）
● 質量	:	約5.9kg（電池をのぞく）

・仕様は予告なしに変更されることが有ります。
・Tivoli Audioは、予告なしに製品変更を行う権利を保有します。
・Tivoli Audio, Tivoli Audioロゴ、Tivoli Audio Music SystemはTivoli Audio LLCの商標です。他の製品名、会社名、各社の商標です。

保証とアフターサービスについて

保証書（本書に記載）：

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
保証書および無料修理規定の内容を、よくお読みのあと、保存してください。

修理を依頼されるとき：

●保証期間中は・・・

保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが、お買い上げの販売店に製品に保証書を添えてご持参いただくか、お客様ご相談窓口まで御連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは・・・

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店か、お客様ご相談窓口までご相談ください。

お客様ご相談窓口：

修理に関するご相談は、
下記の（株）ピー・ドゥ修理窓口までお願いいたします。

ピー・ドゥ　サポートセンター
〒610-0302　京都府綴喜郡井手町大字井手小字段の下43-1
フリーダイヤル：0120-58-4988　　ＦＡＸ：0774-99-4462
受付時間：月～金曜　午前9時～午後5時30分
（ただし、祝日、年末年始はのぞきます。）

無料修理規定

１．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　（イ）無料修理をご依頼になる場合は、商品に「保証書」を添えていただき、お買い上げの販売店にご依頼ください。
　（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合は、お客様ご相談窓口までご連絡ください。

２．ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口にご相談ください。

３．ご贈答品などで、「保証書」に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、お客様ご相談窓口へご連絡ください。

４．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　（イ）使用上の誤りや不適切な設置、間違った補助機器の使用による故障及び損傷
　（ロ）お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などの故障及び損傷
　（ハ）不当な修理や改造による故障及び損傷
　（ニ）指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷
　（ホ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障及び損傷
　（ヘ）車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　（ト）電池などの消耗部品の長時間使用された場合の摩耗、断裂、消耗、故障及び損傷、外観などの経時的な変化
　（チ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
　（リ）海外からの購入や正規でない販売ルートからの購入品の故障や損傷
　（ヌ）「保証書」の添付が無い場合
　（ル）「保証書」にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合
　（ヲ）持ち込み修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料などはお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。

５．「保証書」は日本国内においてのみ有効です。

６．「保証書」は再発行いたしませんので大切に保管してください。

７．「保証書」を譲渡することはできません。

※受信問題の改善、外部発生による雑音/静電気の削減、本製品を使用したことによる時間の損失、不便、損害等に対しての責任は負いません。

※「保証書」は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、ピー・ドゥ サポートセンター までお問い合わせください。

※This warranty is valid only in Japan

製品保証書

この製品保証書は、お買い上げの日から記載期間中に故障が発生した場合に、「無料修理規程」に基づき、無償修理を行うことをお約束するものです。詳細につきましては、前ページの規程内容をご参照ください。

持込修理

製品名・品番	
お客様※	ご住所（〒　　　　　　　　） お名前　　　　　　　　　　　　　　　　様 電話（　　　　　）　　　　ー
ご購入日※	年　　　　月　　　　日
保証期間	本製品ご購入より１年間（本体のみ）
販売店※	店名・住所 電話（　　　　　）　　　　ー

「※」欄に記入のない場合は、無効となりますのでご注意ください。

＜総輸入元＞　株式会社ピー・ドゥ　〒536-0006　大阪市城東区野江3丁目24番24号
＜総販売元＞　株式会社東屋　〒141-0022　東京都品川区東五反田5丁目4番20号

PSM0016ZA